

問1 次の語句を使って短文を書きなさい。

a 「精を出す」

32 ページ 15 行め 「子どもたちの食料を作ることに精を出していた。」

b 「く(の)わりに」

35 ページ 2 行め 「おいしいと言うわりにはく食欲がない。」

c 「むやみに」

39 ページ 19 行め 「何もなただむやみに寂しいところへ行くく」

a

┌

└

b

┌

└

c

┌

└

問2 「握手」と熟語の構成が同じものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

┌

└

ア 病人

イ 地震

ウ 洗顔

エ 拡大

問3 a 30ページ8～9行め「(達者な日本語で声をかけながらこっちへ) 寄ってきた」の主語、b 32ページ2行め「(この天使の十戒が) さらに」の被修飾語(がかかることば)を、それぞれ一文節で抜き出さない。

a [

]

b [

]

問4 30ページ11行め「彼の日本語には年季が入っている」とありますが、「年季が入っている」に近い意味のことばを次の中から選び、記号で答えなさい。

[ ]

- ア 日進月歩
- イ 経験豊富
- ウ 一石二鳥
- エ 完全無欠

問5 31ページ5～6行め「その手を見て思わず顔をしかめた」について、次の問いに答えなさい。

a なぜ「顔をしかめた」のですか。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

[ ]

- ア ルロイ修道士との握手に辛い思い出があるから。
- イ ルロイ修道士の力強い握手を思い出したから。
- ウ ルロイ修道士が手を差し出すことはなかったから。
- エ ルロイ修道士と久しぶりの再会で緊張したから。

b 実際にはどのような握手でしたか。文中から八字で抜き出さない。

[

]

## 握手

問6 32ページ6行め「彼の握力は万力よりも強く、しかも腕を勢いよく上下させる」とありますが、この握手にはルロイ修道士のどのような気持ちがかめられていますか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

〔 〕

- ア 「私」を勇気づけ、安心させようという気持ち。
- イ 「私」を笑わせて、楽しませようという気持ち。
- ウ 園の規律の厳しさを「私」に示そうという気持ち。
- エ 園で過ごす覚悟を「私」に確かめようという気持ち。

問7 32ページ17行め「あの頃のルロイ修道士の汚いてのひらは……」について、次の問いに答えなさい。

- a 「あの頃」のルロイ修道士の様子をまとめた次の文の「A・B」に入ることばを、それぞれ文中から抜き出さなさい。  
ルロイ修道士は、園長でありながら、畑や鶏舎で「A  
いつも手が汚れていた。また、ルロイ修道士は、子どもたちがその野菜を食  
べるところを「B  
」に眺めていた。

b aのことから、ルロイ修道士のどのような人柄がわかりますか。二十字程度で二つ記しなさい。


問 8 33ページ3行め「(天使園には) こんなうわき」とありますが、どのようなうわきですか。文中のことは使って、十五字以内で二つ記しなさい。

[ ] [ ]

問 9 34ページ15行め「総理大臣のようなことを言っはいけませんよ。」とありますが、「私」のどのことばに対して言ったのですか。文中から抜き出し、その初めと終わりの五字ずつを記しなさい(句読点を含む)。

[ ] [ ] [ ] [ ]

問 10 35ページ3〜4行め「ラグビーのボールを押し潰したようなかつこうの持ち出しせそうである。」とありますが、プレーンオムレツのどのような状態を表していますか。十五字程度で説明しなさい。

[ ] [ ]

問 11 37ページ5〜6行め「ルロイのこのことばを忘れないでください。」について、次の問いに答えなさい。

a 「このことば」とはどのことばですか。文中から抜き出しなさい。  
b 「私」はルロイ修道士のことばをどんなものとしてとらえましたか。文中から二字で抜き出しなさい。

a [ ] [ ]

b [ ] [ ]

握手

問 12 37ページ15行め「平凡な質問をしてしまった」とありますが、「平凡」の意味と対義語を記しなさい。

意味 [

]

対義語 [

]

問 13 37ページ17行め「いっとう楽しい」、38ページ18行め「いっとう悲しい」ことからうかがえるルロイ修道士の人物像を、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

[ ]

ア 卒園した後も、園児の生活を経済的に支え、見守り続けている。

イ 園児の状況がどのようなものであっても、つねに穏やかでいられる。

ウ 園児の成長を心から喜び、卒園後も園児の幸せを心から願っている。

エ 卒園した後は、社会の厳しさに対応できるように突き放している。

問 14 39ページ16行め「ルロイ修道士は少し赤くなって頭をかいた。」について、次の問いに答えなさい。

a なぜ、ルロイ修道士はこのような動作をしたのか。次の文の「A・B」にあてはまることばを、Aは一字、Bは五字以内で答えなさい。

自分が「A

」に直面していることを「私」に「B

」から。

b この表現からルロイ修道士のどのような心情が読み取れますか。次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

[ ]

・

[ ]

ア 怒り           イ 楽しみ

ウ 決まり悪さ(ばつの悪さ)

エ 悲しみ       オ とまどい

カ 不安           キ 落ち込み

ク 絶望

問15 40ページ4行め「それでも足りずに腕を上下に激しく振った。」とありますが、「私」はルロイ修道士にどのようなことを伝えたか考えた考えられますか。三十字程度で答えなさい。

[ ]

問16 40ページ9行め「葬式でそのことを聞いたとき、私は知らぬ間に、両手の

……打ちつけていた。」について、次の問いに答えなさい。

a 「そのこと」が表す内容を一文で抜き出し、はじめの五字を書きなさい。

[ ]

b 「両手の人さし指を交差させ、せわしく打ちつける」というルロイ修道士の動作には、どのような意味がありましたか。文中から抜き出しなさい。

[ ]

c bの動作をしたときの「私」の気持ちを、次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

[ ]

- ア ルロイ修道士の病気に全く気づかなかったことへの後悔。
- イ 敬愛するルロイ修道士の命を奪った病魔に対する怒り。
- ウ 私の言うことを聞かなかったルロイ修道士への失望。
- エ 死を覚悟していたルロイ修道士の言動へのやるせなさ。
- オ ルロイ修道士がいなくなったこの世で生活していく不安。

握手

B

A

問17 32ページ4行め「(私をルロイ修道士は机ごしに) 握手」(A)と40ページ3～4行め「(それからルロイ修道士の手をとって、しっかりと) 握った」(B)とありますが、AとBの握手は、「誰が」「誰に」「どのような目的」でしたものかを説明しなさい。

★問18 ルロイ修道士の葬式の後、光が丘天使園の卒園生で、ルロイ修道士の追悼集を作成することになりました。あなたならルロイ修道士の人物像をどのできごとを取りあげて紹介しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

- 条件1 Aには見出しとして、ルロイ修道士の人物像を十五字程度で書くこと。
- 条件2 Bにはルロイ修道士のエピソードとそれに対する「私」の思いを七十字以上、百字以内で書くこと。

A	○○○○○○○
B	エピソードと「私」の思い

★問19 この文章で、「私」はルロイ修道士に、「何かの病気にかかっているかどうか」を直接聞くことができませんでした。あなたが「私」の立場だったら、西洋料理店でルロイ修道士に直接聞きましたか。A「聞く」 B「聞かない」のどちらかを選び、選んだ理由を次の条件にしたがって書きなさい。

条件1 あなたの考えを具体的に書くこと。

条件2 七〇字以上、一〇〇字以内で書くこと。

選んだ記号

〔 〕